

令和5年11月21日

会員各位

一般社団法人東京都トラック協会
運輸安全委員会
委員長 森本 勝也

交通事故未然防止のための安全確認の徹底について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、東ト協の事業各般にわたり、種々御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、警視庁管内における令和5年の事業用自動車による交通事故の発生状況は、11月21日現在、会員関与による死亡事故が4件、うち第一当事者事故が2件であり、対前年同期と比較して4件減少しているものの、死亡事故発生総件数は20件であり、対前年同期と比較すると3件増加し、前年総件数22件に迫る状況です。

死亡事故発生状況を見ると、自転車・バイク等の二輪車との衝突が13件と最も多くを占めており、交差点付近での前方および側方の安全不確認が原因と考えられます。

これから年末を迎え、人や荷物の動きが活発になり、交通量が増加するとともに、繁忙による焦りから事故が誘発されるおそれがあります。ひとたび事故が発生すると甚大な被害が予想されることから、交通事故未然防止のため、歩行者保護の徹底と安全運転意識の向上が不可欠です。

特に、12月10日から来年1月10日まで、「年末年始の輸送等に関する安全総点検」が実施されることから、より一層安全意識を高め、歩行者、自転車やバイク等の二輪車及び他の交通にも十分注意するとともに、交差点や横断歩道では交通事故未然防止のため、安全確認を徹底されますよう、ドライバーに対する指導をお願いいたします。

敬具